

公表	保護者等からの事業所評価の集計結果
----	-------------------

事業所名	きみそらBase登戸	公表日	2025年 3月 24日
		利用児童数	25人
		回収数	<b>64%</b>

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見 ない場合は「-」	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	<b>81.3%</b>	18.8%	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決して広くはないが、子供に対する先生の割合も高く、手厚いと感じる。</li> <li>・もう少し広さがあってもいいと思う</li> <li>・たまにでいいので広さのある庭や体育館などで走り回れてもいいのかなと思います</li> <li>・他を知りませんが、広いと思います。</li> </ul>	指導訓練室（小部屋）1人あたり、2.47㎡以上 活動部屋（大部屋）1人あたり1.65㎡以上のスペースになっております。また、定員はおおむね1日あたり10名です。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	<b>87.5%</b>	6.3%	-	6.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色々な先生からのコメントがあるのが親的には様々な意見が聞けて良い。</li> <li>・全員の名前を覚えてくなくてすみません、名札があると助かるかもしれないです</li> <li>・詳しくはわかりませんが、今のところ問題ありません。</li> </ul>	職員一覧表を作り、教室内での掲示やBase通信などお知らせを出してまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	<b>81.3%</b>	18.8%	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あまりそういった目で室内を見ておらず分からない。</li> <li>・いくつか施設を見学した中で、ここでは絵カードの使用よりも文字が多い印象を受けました。</li> <li>・写真と文章を頂いていて助かります。出来れば今日使った教材はコレ！と単体の写真があれば家で買う買わないの参考になりそうと思いました</li> <li>・トイレは子供用トイレ等、あったらよかったなと思いました！入口は少し狭いなと思いました！</li> </ul>	お子様の特性に合わせて絵カードなどを掲示していきます。  トイレに関しては、設備上大人・子ども用一緒のトイレになっております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	<b>93.8%</b>	-	-	6.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも綺麗に整えられているなと思います。ありがとうございます。</li> <li>・すごくきれいだと思います。</li> <li>・上履きを履いて参加していますが、一回参加しただけで上履きが汚れているのを見ると、床の拭き掃除をした方が良さかもしれません。</li> <li>・明るくとてもきれいだと思います。いつもありがとうございます</li> </ul>	継続して、毎日1回以上は床（窓）掃除を行っています。

適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100.0%	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こういった指示は通る、こういった指示は通らないなど、事実報告だけでなくそのあとのフォローまでしてくれるのが成長に繋がっていると思う。</li> <li>・通い始めて6カ月目ですが、保育園の先生からいろいろなことができるようになったと褒めていただくことが増えました。親目線で見ても成長したなと思います。</li> <li>・石川先生の専門的支援が子どもの課題に合っていて良いです。頼りにしています。</li> <li>・名前を覚えてくださりありがとうございます。個々と関わってくださり助かります</li> <li>・とても思います。いつもありがとうございます。</li> </ul>	ありがとうございます。これからも尽力いたします。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	93.8%	6.3%	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援プログラムに沿って行っていただいているのが分かります。</li> <li>・じゅうぶんだと思います、ありがとうございます</li> </ul>	ありがとうございます。公表の仕方などに関して尽力いたします。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100.0%	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦手な分野を丁寧に見てくれている印象があります。</li> </ul>	ありがとうございます。引き続き、スタッフ一同頑張ります。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100.0%	-	-	-	-	ありがとうございます。これからも尽力いたします。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100.0%	-	-	-	-	ありがとうございます。これからも尽力いたします。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	93.8%	-	-	6.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生方の負担にならない程度に、季節のイベントを引き続きやっていただくと嬉しいです。</li> <li>・毎回いろいろな活動をしてくださり、ありがとうございます。</li> <li>・発達の違いの子たちのママがみんな満足そうなので柔軟に対応してくださっているのだらうと思います</li> </ul>	さらに、季節感を味わえるような取り組みをしております。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	56.3%	12.5%	12.5%	18.8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どこまで踏み込んでいいか難しく、個々に約束をしたりできていません</li> <li>・増えたら嬉しいです。</li> </ul>	上階に、「きみそら学童」がありますので、お兄さん・お姉さんと交流する機会を設けていければと思います。

保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100.0%	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めての利用で流れもよくわかっていましてでしたが、小野さんが丁寧に教えてくれました。</li> <li>・丁寧すぎるくらい解説してくださいました</li> <li>・とても丁寧でした。</li> </ul>	ありがとうございます。 引き続き、丁寧な説明を行っていきます
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100.0%	-	-	-	-	ありがとうございます。 引き続き、丁寧な説明を行っていきます
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	87.5%	12.5%	-	-	予定が合わず中々参加できていませんが、今後は参加したいです。	参加しやすいような日程を考慮していこうと思います
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	93.8%	-	6.3%	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丁寧な施設利用の報告があがってくるので、ありがたいです。</li> <li>・入室時には話せる時間がないので</li> </ul>	月1回面談WEEKとして話せる機会を設けておりますが、より月1回面談などお話しをする機会を作りたいと思います
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	81.3%	18.8%	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ利用しはじめて何とも言えない。面談は年1とかで良いかなと思う。</li> <li>・とてもとても助かります。</li> </ul>	ご希望により設定させていただいておりますので、ぜひお声がけください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100.0%	-	-	-	-	ありがとうございます。
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	87.5%	12.5%	-	-	もちつきやババママ会とても助かります ありがとうございます	ありがとうございます。	

	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100.0%	-	-	-	-	ありがとうございます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	93.8%	6.3%	-	-	アプリでのやりとりが多いのでどこまで伝わってるかわかりにくい	お電話などでもお声がけください。また、アプリ内での情報伝達ではわかりやすい心がけを行っています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	100.0%	-	-	-	毎回すぐに情報を伝達していただき、ありがとうございます。	ありがとうございます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	93.8%	-	-	6.3%	-	社内でのコンプライアンス研修などを通して、個人情報管理・扱いを徹底してまいります。
非常時等	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	87.5%	-	-	12.5%	-	マニュアル閲覧に関して整備にて、お時間を要してしまい申し訳ございません。今後も、わかりやすい情報発信していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	75.0%	12.5%	-	12.5%	全曜日でも行ってほしいです。	利用されるお客様様に、訓練を実施・体験できるように計画していきます。

の 対 応	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	75.0%	6.3%		18.8%	—	周知の徹底に努めて参ります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	75.0%	12.5%	-	12.5%	今のところ怪我していません！	（まとめを行った3月13日迄）事業所全体で通院を要した怪我は、2件です。 緊急を要した電話での連絡・事業所無いで の処置でのものは帰宅時（送迎時）に お伝えしております。
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	100.0%	-	-	-	・バスに乗るところからウキウキで出発し、 帰日も楽しかったと言って帰ってくるので安 心して預けられます。 ・たまに先生のお話が家庭でもできます。 ・先生たちが大好きです ・楽しいようです。	ありがとうございます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	87.5%	6.3%	-	6.3%	—	さらに、ワクワク通所してもらえるよう 尽力してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	93.8%	-	-	6.3%	・いくつか見学した中で1番良いなと思って 通い始めました。きみそらに通い始めたから か、年齢的なものもあるのか分からないの ですが 確実に本人が気持ちをコントロールできるよ うになってきたなと夫婦揃って実感していま す。 今後ともよろしく願います。 ・今後ともよろしく願っています。 ・まだあまり通えていないので ・通う日数を増やしたいです！	利用されるお子様だけでなく、保護者の みなさんにもご満足していただけるよう に尽力してまいります。

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		きみそらBase登戸				公表日	2025年3月24日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100.0%	—	子ども一人一人の特性や療育の目的に合わせて、安心できる空間を作るよう配慮している	—	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100.0%	—	とても手厚く配置されていると思う AM・PMで分けていることでの支援体制を行っている	・利用人数に対してばらつきがあるため 多い日があると感じる事もある	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	83.3%	16.7%	HUGの利用でかなりわかりやすい療育を進めていく中で、常に環境をアップデートしていると思います	・まだ改善の余地が必要 ・視覚的な物が少ない為整えていきたい	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	83.3%	16.7%	—	・基本的に配慮はされていると思うが、改善した方がよいと思われる点は、運動部屋が広すぎるので、自由遊びなどをするときには、コーナー分けをするなど場所の構造化をした方がよいと感じる時があります。 ・個人では清掃は胸張って行っているといえるが、全体での共通認識が薄い ・整理整頓ができていない事が多くある為きちんとしていきたい	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100.0%	—	—	—	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	66.7%	33.3%	上半期・下半期(中間含めて)社内で設定されている	・常勤の職員は時間を設けていると思うが、パートの職員だと中々時間的に難しくなってしまうと思う。 ・話し合いの場を作る	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	83.3%	16.7%	—	今回が初めてとなる。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.0%	—	パート職員が意見を話すと、その都度、意見を受け入れて検討してもらっている	・雑談やMTGなどで共通言語が"やっと"定着した印象を受ける。まだ改善等が必要	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	83.3%	16.7%	—	・様々な方(TKC・きみそら職員・関係者・見学等)が出入りをしているので、その反応をもっと受け入れて自信をもった対応を全員ができてほしい	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100.0%	—	適宜行っている	・事業所内での研修は、開所初旬は行っていたが、現状できていない。	

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	83.3%	16.7%	いつでも見られるようになっていて、その日の療育プログラムに活かされている。	保護者にも、公表しているので今回のアンケートにて認知度を知りたい
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100.0%	—	職員間でカンファレンスをしている	保護者ニーズに加担している
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100.0%	—	・療育に参加する子どもたちの配慮点や目標などを伝えてもらいながら、プログラムを作成している ・下半期より、全員で参加できるようにしたアセスメントを行い、計画の確認を行っている	文書だけでなく、話し合いが行われたいと思う
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	83.3%	16.7%	—	・支援(療育)に関して、“ばらつき・不透明”を感じる ・支援についてはもっと話し合ったり整理していかないといけない
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	83.3%	16.7%	—	・一人一人アセスメントをしていると思うが、職員間でのアセスメント力の資質に差があるため、個別計画を適切にできないこともあると感じている。 ・良い面でもあるが、子ども・職員の統一感がない。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100.0%	—	—	・職員一人一人保育所訪問など行ったり、専門支援をしていたりするが、私を含め5領域を意識した療育をやりきっていないような感じもする。 ・理解をして、作成しているが評価・チェックをしてくれる人がいない
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	83.3%	16.7%	—	・職員が忙しい為、特に個別プログラムでは、その時の担当職員に任せっきりになっていることが多い。 ・その日の行き当たりばったり感を感じる。また、立案は薄いと感じる ・行なっているが、足りていないと感じる
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	83.3%	16.7%	新しい活動のヒントを探したりしながら取り入れている。常に情報をアップデートしている	”同じ”(毎日・先週も)というものが多い印象を受ける
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100.0%	—	—	まだ、まだと感じる
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	50.0%	50.0%	—	・常勤とパート職員との間で連携が取れていないことが多く感じる。 ・個々の役割が多く、連携にムラがある ・上手くできていない ・打ち合わせにもう少し工夫が必要と思う
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	50.0%	50.0%	—	・退勤(支援終了後)してから、忙しく振り返りが難しい ・”必ず”ということとはできていない ・振り返りについてねらいと結果をきちんと把握していく	

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	83.3%	16.7%	記録の方法を色々工夫している最中だと感じている。	記録？改善？検証？すべて、中途半端または未熟さを感じる
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	83.3%	16.7%	—	—
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100.0%	—	—	該当児童がない
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100.0%	—	・Kくん、Mさんはじめ連携に密のある児童との差が大きい	—
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	83.3%	16.7%	適宜保育所訪問などを行っている。	繋がり不足を感じる。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100.0%	—	・Aくんを今回初めて書面でお渡しをした。 ・シートの作成	—
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	66.7%	33.3%	—	関わりはない。書面での報告を保護者からもらうのみ
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	66.7%	33.3%	—	TKCの園庭を借りるものの、交流はない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	83.3%	16.7%	面談・連絡などは積極的に実施している	面談の声をかけもっと行なっていく
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100.0%	—	ママ会/ババ会	パパ・ママ会をより広げ・深めていきたい	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100.0%	—	—	説明にムラがある…統一する資料をつくる！
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	83.3%	16.7%	—	”子ども用支援計画”を検討しているが実施できていない
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	83.3%	16.7%	—	”示しながら”の説明はできていない。ごめんなさい…
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	83.3%	16.7%	—	・保護者によって濃淡がある ・面談が足りていない
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	83.3%	16.7%	ママ会/ババ会、行事	保護者同士がやっと…きょうだい同士までは行えていない
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100.0%	—	—	もっと寄り添い「おせっかい」を自分がぶちやがっていききたい
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100.0%	—	—	スケジュールにHP・ブログを組み込んでいるものの…個人的にも満足するものではない
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	83.3%	16.7%	—	もっと共通認識でいたい。処分・持ち運び・管理・会話等…
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100.0%	—	絵カードなどを用いたりしながら、気持ちを伝えられるように配慮している	—
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100.0%	—	・ハロウィンイベント。 ・地域のイベントに参加	—	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100.0%	—	—	「やっと……」マニュアルが周知されました
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100.0%	—	—	BCPをもっと認識したい

非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	83.3%	16.7%	—	”事前”・・・全員周知までにいけていない
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	66.7%	33.3%	—	全員周知までにいけていない
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	83.3%	16.7%	—	全員周知までできていない
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	83.3%	16.7%	—	・安全計画の連携はできていない ・職員全員に周知しているか確認したい
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	83.3%	16.7%	—	・再発防止は、できていない ・小さな事でも記録に残すようにしている
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100.0%	—	—	—
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100.0%	—	—	—

(公表) 事業所における自己評価総括表 / 児童発達支援

○ 事業所名	きみそらBase登戸 (児童発達支援)	
○ 保護者評価実施期間	2025年2月28日 (金) 19:30 から 2025年3月10日 (月) 18:00まで	
○ 保護者評価有効回答数	対象者) 25人	回答者数) 16人 ( 64% )
○ 従業員評価実施期間	2025年2月28日 (金) から2025年3月10日 (月) 18:00まで	
○ 従業員評価有効回答数	対象者) 6人	回答者数) 6人 ( 100% )
○ 事業者向け自己評価作成日	2025年 3月 24 日	

○分析結果

	事業所の <b>強み</b> (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安心感を持って通える	丁寧なかかわり	ご家庭に合わせた周知の徹底 訓練・計画・マニュアル等
2	先生達の関わり (支援者への)	職員がワクワクしながら支援する 楽しい、やってみようと思える声掛け	個々の特性に合わせた、 支援プログラム
3	丁寧な説明	面談・パパママ会へのお誘い レスポンスの早さ	視覚的に共有しやすい取り組み 使用している教具等を共有 (用途なども含めて)

	事業所の <b>弱み</b> (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	交流	親子で・地域との イベント (夏祭り・ハロウィン)	・系列園との交流 ・行っている活動を全員に発信 していく ・学童さんとの交流
2	児童発達支援利用者の イベント・活動	季節行事を感じられる歌や製作	・系列園などの行事への参加を 試みしてみる
3	配信・共有 (マニュアル・安全の取り組み) 等	行っているが配信や共有がおいつ いていなかった。	・QRコード等を利用し最新版 をいつでも見られるようにする